

第1章 梓川・女鳥羽川・薄川・高瀬川流域の概要

1.1 流域の概要

梓川は槍ヶ岳（標高 3180m）の槍沢に源を発し、上高地の大正池付近で焼岳から流れ出た荒廃が著しい 4 つの沢を合流します。さらに乗鞍岳からの諸支川を合わせ、松本市島内で奈良井川と合流した下流を犀川と呼び、押野崎（安曇野市明科）で同じ槍ヶ岳を水源とする高瀬川と合流します（梓川は高瀬川との合流点までという説もあります）。河川法上では、槍ヶ岳の麓まで一級河川の犀川ですが一般には梓川と呼んでいます。

梓川流域は、松本市を中心とした人口、産業の集積地であるとともに、中部山岳国立公園に指定された自然環境豊かな地域であり、特に上高地は良好な自然環境・景観を有する日本でも屈指の観光地です。

女鳥羽川は三才山峠付近に源を発し、松本市白板で田川に合流する一級河川です。松本市の中心市街地を流れ、市民や観光客の憩いの場となっています（長野県奈良井川改良事務所 HP）。

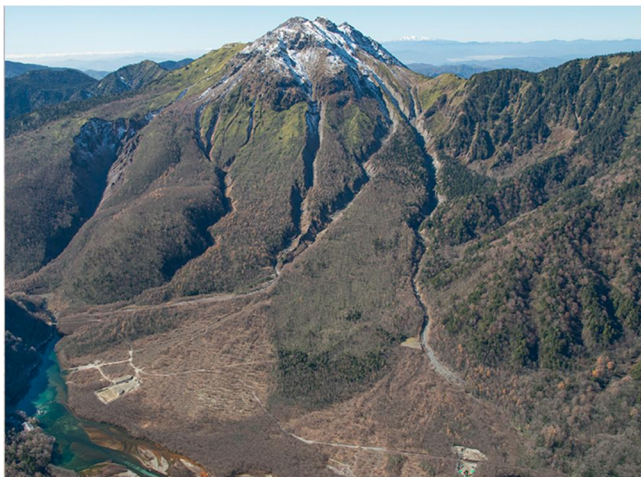


写真 1.1 焼岳-梓川上流
(2015 年松本砂防事務所撮影)

また、^{すすきがわ}薄川は三峰山を源流とし、松本市中条で田川に合流する一級河川です。下流域は松本市南部の市街地を流れ、河川公園など多くの市民の憩いの場所として利用されています（長野県奈良井川改良事務所 HP）。

高瀬川は、槍ヶ岳の千丈沢、天上沢に源を発し、大小の支川を合わせながら、高瀬ダム、七倉ダム、大町ダムを経て、箆川、鹿島川を合流して大町市の扇状地に至ります。その後、安曇野を貫流し、安曇野市押野崎で犀川に合流します。

高瀬川流域には、大町市街地のほか、流域内には集落、観光施設を結ぶ重要交通網である国道が整備されています。また、流域は中部山岳国立公園に指定された自然環境豊かな地域です。

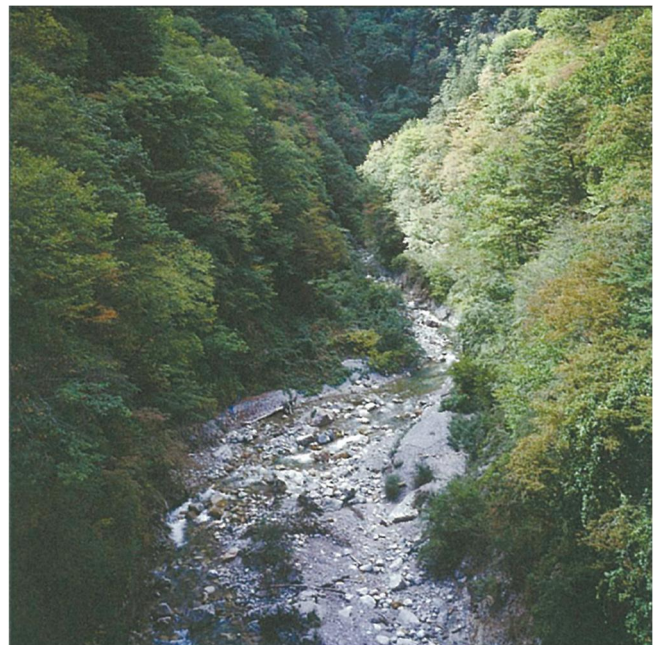


写真 1.2 高瀬溪谷（松本砂防事務所，2024 b）

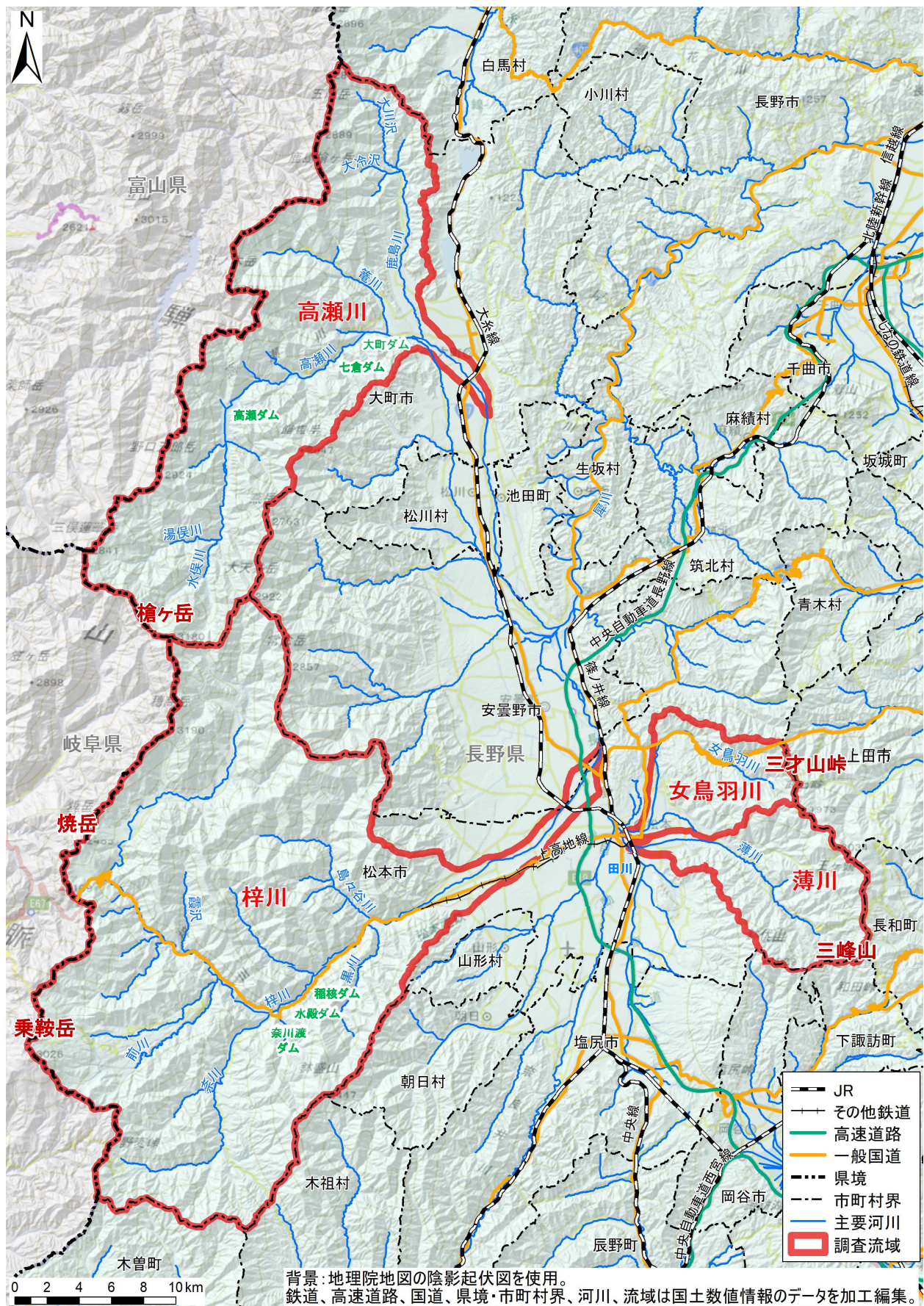


図 1.1 水系流域図（地理院地図「陰影起伏図」に加筆）